



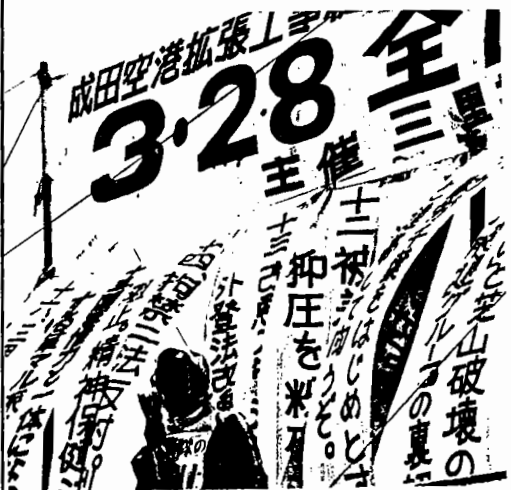
月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222) 7207番

93.4.9 No. 3774

派兵阻止の先頭に！

3・28三塚集 全国から大結集！



田中書記長の決意表明に大々拍手

三・二八三塚集は、恒例の雨と泥の中での闘争となった。だが、結集力は衰えるどころか、全国から老若男女、さまざまな団体が駆け付け、反対同盟を支え、共に闘い抜くことをしっかりと確認した。

動労千葉も、全国の仲間と共に泥にまみれながら、最後まで「デモ」を貫徹。集会では、田中書記長が発言に立ち、「現実という名の下に、あらゆる既成勢力が侵略と反動の流れに屈している。こうした現実を変革するために闘おう」と訴え、ストライキ決起を明らかにしたときには、会場全体から拍手と声援が送られた。

反対同盟の敷地内で闘う市東さんは、「三塚集は正義の闘いであるから、全国からかくも多数集まってくる。感謝の気持ちを生忘れず、これからも頑張る」という気迫あふれる決意表明に、全参加者は心を熱くした。

侵略と反戦の岩、三塚集はあくまでも不屈に前進している。労農連帯の強化こそ、われわれの方向である。

PKO第二次派兵強行弾劾

派兵の既成事実の積み重ね許さぬ！

「UNTAAC襲われ要員六人死傷」(朝日四月三日)、「武装集団40人が襲撃」(読売)等々、カンボジアは、昨年十月自衛隊が派兵投入された以降、激突と内戦は激化・拡大されている。

まさに自衛隊は、「国連」を背景に、「平和維持」「難民救済」の美名の下で、戦争を行なっているのである。その本質は、カンボジアの植民地化、アジアの植民地化であることははっきりとしてきた。



雨の中全国から大結集！反戦の岩=三塚集の団結はますます固くうち固められた。



石川さん「いふれ」を再審行え！狭山千葉刑包囲示毛は全国連の仲間先頭に意気高く闘いぬく(3・28)

4.7北海道 現地闘争に立つ

〈報告は、4月13日号にて〉